

令和5年度 大牟田市教育委員会1月定例会会議録

1. 日 時

令和6年1月17日(水)

開会14時00分 閉会14時55分

2. 場 所

大牟田市庁舎4階教育長室

3. 出席者

教育長：谷本 理佐

委 員：嶋田 桂子、山本 和夫、東 秀樹、木場 真帆

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

事務局長 桑原 正彦、教育監 平河 良、事務局次長 伊藤 英彦、学校教育課長 小宮 武士、
指導室長 杉野 浩二

6. 傍聴人数

0人

7. 開会の宣告等

14時00分、教育長が開会を宣告し、本日の議題について非公開の発議の要否の確認を行った。事務局長から、報告3は人事に関する事項であるため非公開が相当と考えられる旨の報告がなされた。これを受けて、教育長から、報告3を非公開とすることの発議がなされた。採決の結果、全員一致で非公開とすることと決定した。

(報告事項)

1 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の報告について【指導室】

教育長 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の報告について説明をお願いします。

指導室長 令和5年度全国学力・学習状況調査結果の報告について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 令和5年4月18日に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要及び学力向上に向けた今後の取組

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。

委 員 何点かお尋ねします。

1点目は、児童生徒質問紙の書く問題についての分析に、書くことへの抵抗感が薄れている、や、粘り強さが増している、との記述がありますが、中学校では無回答率が高くなっている現状があると思います。書こうとする努力や解こうとする努力をしているのであれば、そ

れらが「解ける力」につながるために、今後どのような指導を行うよう考えていますか。

2点目は、英語について、小学校では、分かる、面白い、楽しい外国語活動が行われていると思います。そのような外国語活動から中学校へのつながりがうまくいっていないのかもしれないと思いました。それは、(資料8ページの)英語の学力層分布状況を見て感じたことなのですが、これについてどのように考えますか。

3点目は、(資料16ページの)家庭学習の時間が中学校で短い状況にあることを踏まえて、例えば、家庭で学習しないのであれば、放課後に学校内で強化学習や補充学習をもっと行うような考えはありますか。

4点目は、資料17ページの「読書」の中で、中学校では約半数が「読書を全くしない」と回答したことについて、小学校と違い、図書を借りる時間が設定されていないことが要因であると分析されていますが、今後の対策をどのように考えていますか。

5点目は、資料27ページの学校質問紙の「保護者、地域との連携」の項に、中学校については、Mボードによる教育活動の発信などが頻繁に行われていることをもって、保護者との連携を十分図っていると分析されているように思いますが、家庭学習へのアプローチが、Mボードによる発信で足りているのかについて疑問がありますので、このことについてお尋ねします。以上です。

指導室長

1点目については、子どもたちは、無回答率も低下していて、何とか粘り強く書こうとしています、「書こうと思ってもなかなか書けない」状況があると思います。その対策として、「言語活動」に取り組んでいます。例えば、社会科では、グラフを見て、どのようなことが言えるのかを読み取って書く、理科では、実験データを見て、どのようなことが言えるのかを読み取って書く、そのようなことを、国語だけでなく全ての教科で行う必要があります。

2点目については、英語は学校による差が大きい状況があります。小・中学校がお互いにどのようなことをしているのか、情報共有を図る必要があります。特に、小学校で英語が教科化されましたので、従前の楽しい外国語活動から「書く」ことにウエイトを置くようにしなければなりません。今回の結果を踏まえて、小学校でも「書く」作業をしっかり取り入れるよう話をしています。また、教員による指導の充実が必要ですので、若手を中心に、中学校で成果を上げている授業などを、学校の枠を越えて、見て学ぶことを行っています。そのような中で、どのような取組を行えば英語の学力がつくのかについて研さんし、高めています。このことも今後さらに進めていきたいと考えています。

3点目については、スタディサポーター等を活用した強化学習や補

充学習を夏休みや放課後に行っています。もちろん、スタディサポーターだけでなく、教員も、基礎・基本の定着が見られない子どもたちに対して指導を行っています。子どもたちの中には、家庭学習の中で何をすればよいのかがわからない子もいますので、具体的に「これとこれとこれ」のような指示をしながら取り組んでいます。

4点目については、中学校では、市立図書館が取り組んでいる電子図書館の紹介も行っています。小学校と同じような読書週間については、中学校では生徒会の図書委員会が読書週間を設けるなど、様々な工夫をしています。その成果が見えてきている学校もありますので、そのような取組を他の学校に広げる横展開も、情報共有をしながら進めていきたいと考えています。

5点目については、ご指摘の点は認識しております。Mボードによる家庭学習に関する情報の発信は少ない状況にあります。Mボードによる発信はもとより、様々な保護者会等の場でも、学校から発信し、家庭学習に一步踏み込んだ情報提供、啓発を行うよう各学校に依頼したいと考えています。

委員

よい取組がいくつも行われていることは聞いていましたので、それらをぜひ活用していただくようお願いします。

委員

過去5年位の経過の中で、小学校も中学校も、「できる学年」とそうでない学年があるように思います。また、小学校では全国平均との差が縮まってきているようにも思いますが、今回、中学校はあまりよい状況にはないようです。過去5年間の傾向として、全国平均との差がどうなのか、また、今回の中学3年生が特に良くなかったのか、それから、英語については学校による差があるとのことですが、よい成績を出している学校は、全国平均相当にはあるのでしょうか。

指導室長

1点目については、今年度は昨年度に比べて、小学校では国語も算数も上がっています。全国平均との差も若干縮まってきています。中学校は、1教科は上がっていますが、もう1教科は下がっています。中学校は、対象学年によって一進一退を繰り返していますが、ずっと下がってきていることはありません。

2点目については、全国平均を上回っている学校もあります。小学校が英語の授業で何を行っているのかについて、中学校へのつながりが不十分な状況があります。小学校で教科化されたことをしっかり認識していない学校がありますし、中学校の側でも、小学校でどこまで行ったかを把握していない状況もあり、小中連携の情報共有が必要です。

もう一つは、英語の授業ではルーティンが絶対に必要です。授業の始めに、会話活動や単語等を毎回繰り返し行い、それを3年間しつこく積み重ねていくことによって底力がついていきます。そのようなルーティンを大切にしたいということを様々なところから聞いています。このことも、他の学校の先生方にも広めて、各学校の英語の学力を高

めていかなければならないと思っています。

委員

やり方によっては全国平均を上回るような実績が出るということであるなら、よい取組を他の学校に広めていただければ望みはあるなど感じました。

指導室長
教育長

数学についても同様に、全国平均を上回っている学校があります。

中学校は指導者の力量が如実に表れるように思います。夏期の校長研修会などで校長や教頭の話を見ると、特に英語に関しては、小学校を卒業するまでにどこまで英語の力を付けさせなければならないのかを、小学校自体が分かっていない状況があります。今回の英語の落ち込み方を見ると、小中連携の取組の強化が必要です。昔と違い、今の中学1年の英語はとても難しくなっていますので、「最低でもここまでは小学校で力を付けさせる」というようなことが必要です。中学生になると、英語の勉強が好きな生徒の割合が小学校に比べて大きく下がる傾向があるのは、そのようなことがしっかりできていないのが要因と考えられます。

委員
指導室長

小学校では、英語の文法を教えるのですか。

(小学校での英語の教科化に伴い、)昔は中学2・3年生で学習していたことが中学1年生に下りてきていますが、小学校では、文法の体系的な学習は行いません。そもそも、「書く」ことをあまり行っていないのですが、今、中学校では、昔のように、1年生の最初に「A,B,C」を教えることはしません。それは小学校で身に付いているのが前提になっています。また、中学校では高度な文法事項がいきなり入ってきますので、中学1年生での初期の指導は大変だと聞いています。

委員

教科化されたことで、小学6年生の段階でここまで教えておかなければならない、ということが、小学校の先生方がまだよく理解できていないということですか。

指導室長

教科化されてまだ日が浅いこと、また、6年生の担任は毎年替わりますので、中学校の英語で何を学ぶのかについての小学校への周知が不十分です。また、小学校の側にも、中学1年生の英語の教科書を見てもらい、中学校で始まる学習の具体的な内容が、昔と違って難しくなっていることをしっかり認識させるよう取り組んでいるところです。

委員

私の下の子は今中1ですが、小学校の英語では遊びのようにして耳で覚えていました。それで、中学生になってもスムーズに英語の授業に入っていたようです。上の子はそうではなく、ABCから入ったので、今苦労しているようです。下の子はスムーズに入れたため、リスニングが上手で、なぜそんなに分かるのかときくと、単語さえ分かれば(文の)意味が分かると言います。このことからすると、教科書で一から見ていくのも大事だけれど、小学校の頃から、耳で「聞く」ことも大事なのかなと思います。そのようにすれば、英語にすんなり入られて、大好きになるのかな、と実際に感じているところです。

また、家庭学習については保護者にも責任があると思うのですが、仕事ばかりして、時間に追われて、子どもたちがかわいそう。先生たちは一生懸命取り組まれているし、子どもたちは、学校が好きになれば勉強も好きになるのかなど。学校に行って、先生のこと大好きであれば授業も面白いだろうと。でも、家で、勉強しなさいとばかり言われてもしないし、学校に行っても先生たちが相手にしてくれなければ楽しくない、学校に行く意味がない。その繰り返し。

最近、子どもたちを見ていると、学校に楽しそうに行っている子は、やはり「勉強が楽しい。」と言います。それに対し、朝から「今日は学校に行かない。」と言って帰ろうとする子を学校に連れて行くと、先生に「おはよう」と受け入れてもらえない。そうになると、その子の居場所はどこにあるのでしょうか。一日、学校が楽しくないだろうな、勉強も面白くないだろうなと思います。ですから、学校が楽しければ、（学力は）少しずつでも上がるのかなと思います。

それから、全国学力・学習状況調査は（全国）一斉だけれども、普通のテストは学校によって違いますね。指導力が高い先生たちが（子どもたちを）毎日のテストで鍛えていけば、（学力も）上がっていくかもしれない。でも、「うちのクラスの子はこれ位しかできないから。」などと、先生たちがやる気がなければ、全体的な程度も下がってくるのかなど。であれば、全部統一した方がよいのかな、とも思います。個人的な意見ですが。

ですから、本当に学校を好きになってほしいですし、楽しい授業が大事なのかなと感じます。

指導室長

ありがとうございます。特に小学校では、ベースになるのは学級づくり、学級経営です。楽しい学級づくりがあって、その中で子どもたちが学ぶことによって、学校が楽しい、授業が楽しい、ということが、よいスパイラルになると思います。学級づくり、学級経営をベースにしながら、子どもたちが、居場所として、楽しい、安心できる、そのような空気を教員が作っていけるよう指導助言を行っていきたいと思います。

委員

毎年同じような質問をしますが、事務局の先生方も、現場の学校の先生方も頑張っている、それなのになぜ（学力が）上がらないのか。見込みはあるのでしょうか。あとどれ位経てば、指導室はじめ、皆さんが考えているような状況になるのかなと思っています。

指導室長

早く成果を出さなければならぬと思っています。学力向上のためには、もちろん授業づくりも大事ですが、粘り強さや、仲間と一緒に取り組むこと、責任感などの「非認知能力」と学力には相関があり、学力向上には重要だといわれています。先ほど申し上げた「学級づくり」に集約されるのですが、そこが高まっていくことで学力も上がっていくと思いますし、特に小学校では、同じ学年でも学級づくりがう

まく行っているクラスが学力も上がっていますので、学級づくりにも
棹^{きお}さしていきたいと思っています。特に若い教員が増えていますので、
「学級をつくる」ということを、今各学校にお願いしているところ
です。その上で、授業づくりの研修も行っていきたいと思っています。

委員
教育長

期待しています。

12月補正予算では、タブレットドリルの予算も付けてもらったの
で、各学年で3教科分活用できるようになりました。

また、何よりも、子どもたちには、勉強するのは誰のためでもなく、
自分のためであること、将来困らないようにするため、充実した人生
を送るためには、今頑張ることが大事だと理解してほしいと思ってい
ます。

他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(了解する旨の声あり)

2 令和5年度末人事異動に関する福岡県教職員組合大牟田支部の要求について【学校教育課】

教育長 令和5年度末人事異動に関する福岡県教職員組合大牟田支部の要求に
ついて説明をお願いします。

学校教育課長 令和5年度末人事異動に関する福岡県教職員組合大牟田支部の要求に
ついて説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 福岡県教職員組合大牟田支部からの人事異動に関する要求の内容、要求に対す
る回答の内容

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。

委員 (教育課程の見直しに伴い)今年度から実施した水曜日午後の取組
は、6年度も継続しますか。

学校教育課長 はい、今年度同様に実施する予定です。

委員 今年度の取組を経て、学校からはどのような意見が多く出ていまし
たか。

学校教育課長 最初は実施の仕方について戸惑いもあったようですが、1学期の実
態を踏まえて、2学期からは各学校で工夫して実施されており、この
取組はよかったとの声を多く聞いています。

委員 分かりました。

委員 資料2・6ページの「申し入れ事項」の1に「同一校における勤務
年数は原則として6年とすること」とありますが、勤務年数は平均で
何年位でしょうか。

学校教育課長 特別な事情がない限り、最長6年で異動となっています。ただし、特に中学校は教科担任制のため、学校の状況により6年を超える場合もあります。

委員 小学校、中学校それぞれの平均の勤務年数は分かりますか。

学校教育課長 申し訳ありません、データの算出は行っておりません。

委員 分かりました。

教育長 他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。
(了解する旨の声あり)

3 令和6年度教職員の人事について【学校教育課】

《大牟田市教育委員会会議規則第3条ただし書きの規定により非公開》

教育長 その他にご意見、ご質問等はありませんか。

無いようでしたら、以上で1月定例会を終わります。

閉会 14時55分